

目次 障害者に向けて

★災害が起きたらすること



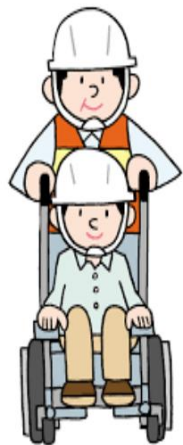
聴覚障害者の情報伝達に配慮を



©河北新報社

イラスト さとうあけみ

- 1目が不自由な人が地震で困ること
- 2目が不自由な人のための防災グッズ
- 3耳が不自由な人が地震で困ること
- 4耳が不自由な人のための防災グッズ
- 5体が不自由な人が地震で困ること
- 6体が不自由な人の防災グッズ
- 7家族や周りの人が注意すること
- 8逃げる場所
- 9地図
- 10災害が起きた時の対応
- 11結論



目が不自由な人が地震で困ること

- 周囲の情報が入らず、冷静な判断ができない
- 避難場所に逃げるのが大変
- 避難場所は広くて沢山の人がいるので困る
- 1人で行動でいない



避難場所に行けても避難場所で
困ることはたくさんある。





目の見えない人の防災グッズ

①小さな笛（ホイッスル）と反射板がついた、音と光のキーホルダーです。

従来の約3倍の超高輝度、視認距離は57mなので、夜間歩行時の安全に役立ちます。ホイッスルは、周囲に助けを求めるときに役立ちます。

②蛍光緑色の目立つメッシュ生地ベスト。

これを着用することにより緊急時の時に周りにいる人がベストを見て助けてもらうことができます。



耳が不自由な人が地震で困ること

1. 避難方法や避難場所、地震の被害状況の情報がなかなか得られない。
2. 家具の下敷きになって身動きがとれないとき、発声が困難なため助けを呼べない。
3. 捜索者の存在に気づかず、救出につながりにくい。
4. 避難場所に着いても、放送が分からず、食事の配給などの援助がなかなか受けられない。
5. 家族などと連絡を取り合うのが難しくなる。
6. 周囲とのコミュニケーションがうまくとれず、孤立してしまう。
7. 停電時や暗い場所で、視覚からの情報が入らず、コミュニケーションが取りにくい。



耳が不自由な人のための防災グッズ

〈 必要な物 〉

- ・補聴器
- ・補聴器電池
- ・笛

〈 準備すること 〉

- ・家族と避難場所を確認する。
- ・緊急時連絡方法を決める。
- ・避難訓練に参加する。
- ・地域の人と知り合いになる。



体が不自由な人が困ること



困ること

危険な状況が理解できません。

自分の意思をうまく伝えられません。

パニックに陥ってしまうこともあります。

避難場所まで移動できません。

体育館で生活できない。

体が不自由な人のために防災グッズ

1. 障がい者の避難グッズ

非常用持ち出し袋リスト

- ・飲料水や食料品（そのまま食べられるもの）
- ・預金通帳や印鑑、現金、健康保険証など貴重品
- ・ヘルメット、防災頭巾、手袋など
- ・笛やブザーなど助けを呼ぶもの
- ・救急セット（ばんそうこうや消毒液など）
- ・簡易トイレ、ウェットティッシュ、歯磨きシート、タオルなど

- ・替えの衣類や下着
- ・レインコートやアルミブランケット
- ・スマートフォンなど携帯端末
- ・バッテリーや充電器
- ・障がい者手帳やおくすり手帳
- ・ヘルプカード

2. 身体障がい

- ・車いすや歩行器、杖
- ・床ずれ対策ができるもの
- ・紙おむつや携帯トイレなど



障害者の家族に向けて



障害のある方は一人で行動したり生活したりすることが難しく、周りの方の手助けが必要になります。なので、危険だと思ったら、自分の身も守りながらも、障害者のことも手助けしてあげてください。

もし災害が起きたら…

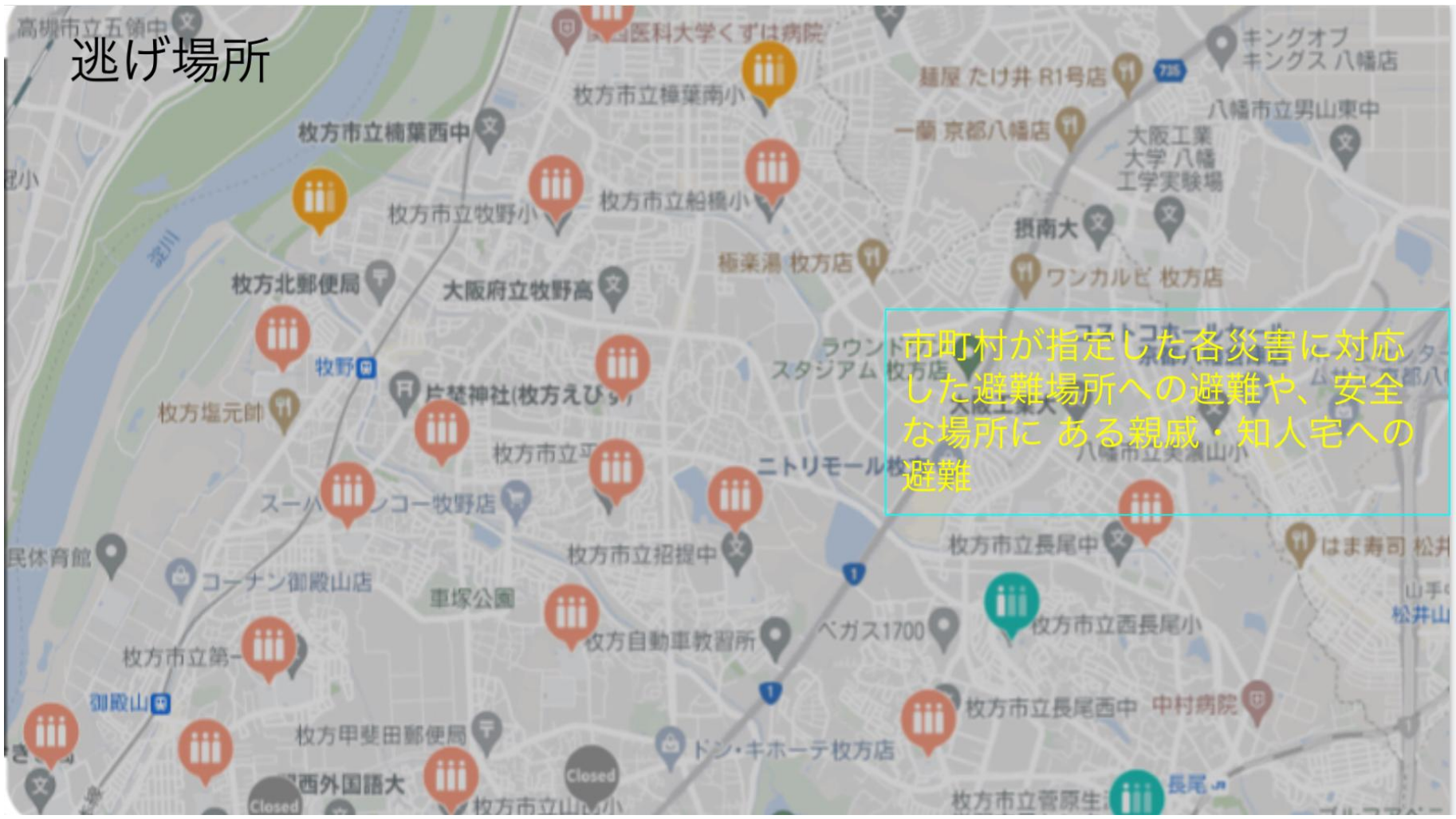
- ①声をかける
- ②防災バッグを持つ
- ③避難場所へ向かう

みんなで安全に
避難しよう！



逃げ場所

市町村が指定した各災害に対応した避難場所への避難や、安全な場所にある親戚・知人宅への避難



地図について

楠葉

町楠葉

13



ソフトバンクくずはモール [ワイモバイ]
【公式】ソフトバンク

樟葉



JTB くずはモール店
旅行代理店



アニメイト くずはモール店
アニメイトでフェア開催決定

楠葉花園町

18

枚方市立楠葉西中



13

災害が起きた時の対応

地震の場合

なるべく棚や冷蔵庫
など倒れやすいもの
から離れる。



机の下で身を守る。



助けが来たら、そ
の人の指示に従っ
て、避難する。

台風などの場合

ハザードマップを確認して、
避難経路などを確認する。



雨戸とカーテンを閉める。



不要な外出は避け、台風が過
ぎ去るのを待つ。



